

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0423

(注)本稿は2017年10月9日から19日まで7回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

5年連続でランクを落としたサウジアラビア:世界競争力ランキング(2017-2018年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その15)

2017.10.21

前田 高行

目次	頁
1. 「世界競争力レポート」について	2
2. MENA16カ国の世界競争力ランキング	2
3. 過去5回の順位の推移	
3-1 MENA 各国の順位の変遷(第13回～第17回)	3
3-2 MENA 主要3カ国と米国・日本・中国の比較(2013年～2017年の推移)	4
4. MENAの分野別競争力	4
5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の19の国と1機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム協力機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第15回のランキングは、「世界経済フォーラム」(World Economic Forum, 略称 WEF)が発表した「Global Competitiveness Report 2017-2018」(世界競争力レポート)について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* WEF ホームページ:

* <https://www.weforum.org/reports/the-global-competitiveness-report-2017-2018>

1. 「世界競争力レポート」について

「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report)」は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム」が2001年から毎年発表しているレポートであり今回で第17回目となる。第1回レポートの対象国は75カ国であったが、その後対象国は増え今回は137カ国となっている。MENA の対象国は16カ国であり、評価対象外となっている国はリビア、シリア、イラク及びパレスチナ自治政府である。

このランキングは、一般に入手可能な公表データと、WEF が報告対象各国の提携機関とのネットワークで行っている包括的年次調査「エグゼクティブ意見調査」の結果から算出されている。ちなみに日本の提携機関は慶応大学、経済同友会である。

「世界競争力レポート」の総合的な競争力ランキングはコロンビア大学のザビエル・サラ＝イ＝マーティン教授が開発し2004年に導入された世界競争力指数(Global Competitiveness Index, GCI)が用いられている。GCIは競争力に関する12の分野をもとに設計されており、世界の国々のすべての発展段階における競争力の全体像を示している。

12分野とは、①制度機構(Institutions)、②インフラ(Infrastructure)、③マクロ経済環境(Macroeconomic environment)、④保健および初等教育(Health and primary education)、⑤高等教育及び訓練(Higher education and training)、⑥商品市場効率(Goods market efficiency)、⑦労働市場効率(Labor market efficiency)、⑧金融市場の開発度(Financial market development)、⑨技術的即応性(Technological readiness)、⑩市場規模(Market size)、⑪ビジネスの洗練度(Business sophistication)及び⑫イノベーション(Innovation)である。

(MENA トップはイスラエル！)

2. MENA16カ国の世界競争力ランキング (末尾表 15-T01 参照)

2017-2018年競争力ランキングではMENA19か国のうち16カ国がランク付けされている。MENA トップはイスラエルで同国の世界順位は16位である。昨年は世界24位で UAE、カタールに次いで MENA3位であったが、今年は一挙にトップに躍り出た。これに対して昨年 MENA トップで世界16位であった UAE は今年を一つ落としイスラエルに次ぐ世界17位である。

カタールは昨年の世界18位から一挙に25位に転落した。カタールは今年6月にサウジアラビア、

UAEなどから断交され経済的な苦境に立たされているが、本ランキングはそれ以前のデータに依拠しており、断交の影響は加味されていない。同国のランク下落は偏に同国の財政の根幹を成す石油・天然ガス価格が低迷していることが原因であり、UAE を含め次に触れるサウジアラビア、クウェイトなど湾岸産油国はおしなべて順位を下げている。

イスラエル、UAE、カタールに続くのはサウジアラビア(世界30位)、バハレーン(同44位)、クウェイト(同52位)の各国である。サウジアラビアは昨年より1ランク下がっている。クウェイトは昨年の38位から今回は一挙に50位以下に転落、順位の下落幅は MENA16カ国の中で最も大きく、今回の調査では石油・ガス資源に依存する湾岸諸国の競争力の低下が顕著である。

これに対して MENA 諸国の中では非産油国の競争力の向上が目立っており、上記のごとくイスラエルは昨年よりも8ランク上がっており、地域の大国であるトルコ(55位→53位)、イラン(76位→69位)もランクを上げ、中でもエジプトは昨年の世界115位から今回は100位と大幅にランクアップしている。

世界100位以下はエジプト、レバノン、イエメンの3カ国であり特にイエメンは世界最下位の137位にとどまっている。

因みに世界ランク1位は昨年同様スイスであり、2位に米国が続いている。日本は世界9位であり昨年の8位よりも順位を下げている。中国は27位でありカタールとサウジアラビアの中間に位置している。

3. 過去5回の順位の推移

3-1 MENA 各国の順位の変遷(第13回～第17回) (末尾表 15-T02 参照)

第13回(2013-2014年)から第17回(2017-2018年)までの競争力ランクの推移を見ると、第13回から第16回までは UAE とカタールが常に世界20位以内に入り、両国で毎年トップが入れ替わっていた。しかし今回はそれまで20位以内にとどまっていたイスラエルが世界16位に進出、一挙に MENA トップの座についた。一方カタールは25位に後退、UAE は20位以内に踏みとどまったものの前回よりランクが下がり MENA トップから滑り落ちている。

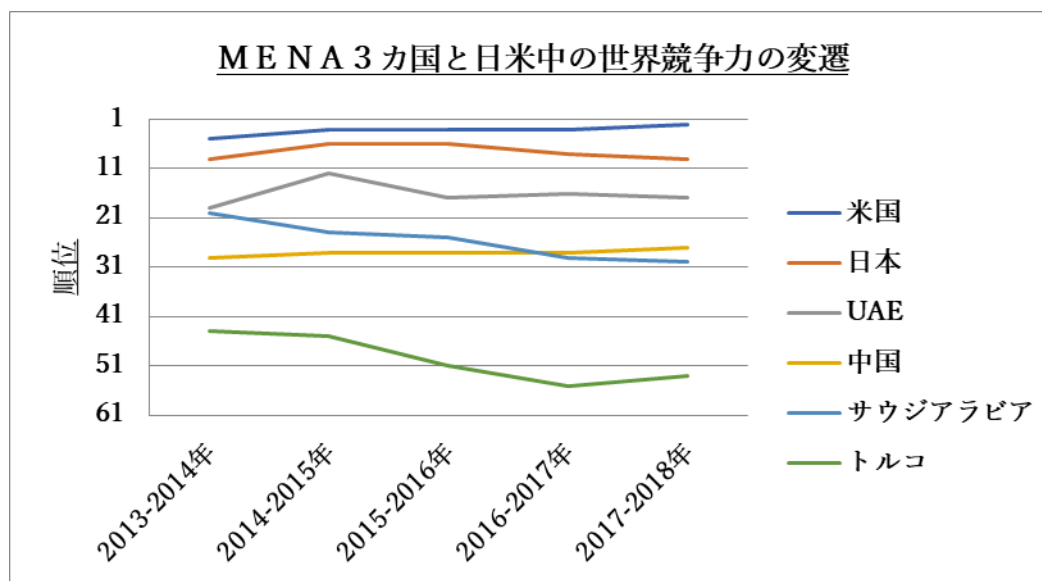
これら3カ国に続くのがサウジアラビアであるが、同国は第13回の世界20位以後、毎年連続して順位を下げ今回世界30位にとどまっている。同じGCCに属するバハレーンは40位台を維持し続けている。またクウェイトは過去5年間のうち3年は30位台であったが、今回は52位に急落している。GCCの残る1カ国オマーンは第13回の世界33位から2年連続で急落、第15回以降は世界60位台半ばに低迷している。トルコはここ3回は50位台にとどまりヨルダンも過去5回を通じて60位台である。

イスラエルからヨルダンまでの9カ国は5年間を通じて世界の上位ランクを維持しているが、イラン及びエジプトを含む7カ国は常に世界の低位クラスにとどまっている。イランとエジプトの過去5回の

順位の変遷を見ると、イランは82位→83位→74位→76位→69位、エジプトは118位→119位→116位→115位→100位である。両国ともランク上昇の兆しが見られるが、この傾向が持続するか否か予断は許さない。また地域大国3か国の間ではトルコ-イラン-エジプトの順位格差は固定している。

3-2 MENA 主要3カ国と米国・日本・中国の比較(2013年~2017年の推移)

MENA のサウジアラビア、トルコ、UAE3カ国と米国、日本、中国の過去5回の競争力順位を比べてみる。



米国の第13回(2013-14年)の順位は世界5位であったが、5年間の順位は5位→3位→3位→3位→2位であり、毎年高い競争力を維持するとともに年々その地位が上がっている。これに対して日本は9位→6位→6位→8位→9位とベストテンは維持しているもののここ3回は年々ランクが下がっている。

UAE は今回イスラエルの後塵を拝したものの過去4年間は MENA とプであり5年間を通じて世界20位以内を維持している。同じ GCC のサウジアラビアは2013年-2014年の20位をピークとしてその後毎回連続して順位を下げ今回は30位にとどまり、中国に追い抜かれて競争力に陰りが見えている。これに対して中国は29位→28位→28位→28位→27位とコンスタントに20位台の後半であり、現在はサウジアラビアを上回っている。

トルコの場合第13回(2013-2014年)の順位は44位であったが、その後45位→51位→55位と連続して順位が下がっている。しかし今回(2017-2018年)は53位と若干回復している。強権的な政権として問題は含んでいるが、経済は安定しており今後も競争力が向上することが期待される。

4. MENAの分野別競争力 (末尾表 15-T03 参照)

冒頭に触れた通り世界競争力指数は「制度機構」から「イノベーション」まで12の分野について世

界137カ国を順位付けている。分野毎の MENA 各国の世界順位は概略以下のとおりである。

(1) 制度機構(Institutions)

MENA トップは UAE で世界順位は5位、同国に次ぐのはカタール(世界10位)であり、この両国は世界トップレベルである。MENA3位以下は、バハレーン(同23位)、サウジアラビア(同26位)、オマーン(同28位)であり、これら GCC5か国は世界的に見ても高い水準である。但し同じ GCC 構成国でもクウェイトは世界57位であり6カ国の中では見劣りがする。

(参考:日本17位、米国20位、中国41位)

(2) インフラ(Infrastructure)

UAE は世界5位であり非常に評価が高い。これに次ぐのがカタール13位、イスラエル25位、サウジアラビア29位、バハレーン33位であり、MENA 諸国の中では UAE が飛び抜けている。

(参考:日本4位、米国9位、中国46位)

(3) マクロ経済環境(Macroeconomic environment)

カタールが世界20位で UAE が同28位、クウェイト同30位、イスラエル39位と続いている。MENA 第5位にはイランが世界44位で入っている。イランは総合では世界85位で MENA では10位といずれも下位グループであるが本指標のランクは高い。これに対してイエメン(130位)、エジプト(132位)、レバノン(133位)、は世界137カ国中の最低ランクにとどまっている。なお債務比率の高い日本及び米国は本指標の世界ランクがかなり低いのが特徴である。

(参考:中国17位、米国83位、日本93位)

(4) 保健および初等教育(Health and primary education)

この分野では世界27位のイスラエルが MENA トップである。これに次ぐのは UAE(33位)、カタール(34位)、バハレーン(37位)が30位台である。イランは世界50位であり、世界51位のサウジアラビアを上回っている。

(参考:日本7位、米国29位、中国40位)

(5) 高等教育及び訓練(Higher education and training)

この分野の MENA トップはイスラエル(世界21位)である。UAE、カタール及びバハレーンがこれに続いているが、世界順位はいずれも30位台後半である。MENA5位以下はサウジアラビア(世界43位)、トルコ(同48位)が世界50位以内である。100位以下はエジプト(100位)、モロッコ(101位)及びイエメン(136位)の3カ国が名を連ねている。

(参考:日本23位、米国3位、中国47位)

(6) 商品市場効率(Goods market efficiency)

この分野では UAE(世界3位)が世界のトップレベルに評価されている。これに続くのがカタール(15位)、バハレーン(23位)で GCC の3カ国が上位を占めている。同じ GCC 加盟国であるがクウェイトは世界89位と低い。地域の大国トルコ、エジプト、イランの順位はそれぞれ53位、90

位、100位である。

(参考:日本13位、米国7位、中国46位)

(7) 労働市場効率(Labor market efficiency)

世界11位のUAEがMENAトップである。イスラエル(世界18位)、カタール(同19位)がこれに続いている。MENAのこの分野における世界順位は概して低く、アルジェリア(133位)、エジプト(134位)、チュニジア(135位)、イエメン(136位)など世界137カ国の中でも最低クラスの国が多い。このためMENAの平均順位は95位であり12の指標の中では最も低い。

(参考:米国3位、日本22位、中国38位)

(8) 金融市場の開発度(Financial market development)

MENAではイスラエルが最も洗練された金融市場と評価されており世界11位である。そのほかではUAE(世界24位)、カタール(25位)などが競争力の高い国とされている。金融活動が活発なバハレーンは46位である。

(参考:米国2位、日本20位、中国48位)

(9) 技術的即応性(Technological readiness)

この分野では世界ランク7位のイスラエルがMENAトップである。これに続くのはUAE(世界24位)であるがイスラエルとの格差が大きい。以下バハレーン(同31位)、カタール(34位)、サウジアラビア(44位)と続いている。一方、イランおよびエジプトは各々91位、94位である。

(参考:米国6位、日本15位、中国73位)

(10) 市場規模(Market size)

市場規模の競争力ランクではトルコが世界14位、サウジアラビア15位、イラン19位、エジプト25位、UAEが29位である。上位4カ国は人口の規模がそのまま市場規模に直結していると言えよう。UAEは人口こそ少ないが中継貿易基地として中東・中央アジアおよび東アフリカ地域を市場に取り込んでいることが世界29位の評価につながっている。これに対してクウェイト(50位)、カタール(51位)など人口が少ない湾岸産油国は一人当たりの購買力は高いが市場規模での競争力は低い。

(参考:米国2位、中国1位、日本4位)

(11) ビジネスの洗練度(Business sophistication)

UAEがMENA1位(世界13位)であり、これに続くのがイスラエル(15位)、カタール(22位)、サウジアラビア(34位)である。一方、イラン(97位)のように経済制裁を受けていた国は、欧米の経営ノウハウの流入が遅れており、洗練度が低く競争力は見劣りすると評価されている。

(参考:日本3位、米国2位、中国33位)

(12) イノベーション(Innovation)

イスラエルは世界3位であり、技術先進国としての評価が定着しており、MENAの中では抜きん出ている。同国に次ぐMENA2位はカタール(世界21位)、以下UAE(25位)、サウジアラビア(40位)、

バハレーン(45位)と GCC 各国が並んでいる。しかし同じ GCC 加盟国であるクウェイトは世界103位と極めて低い。クウェイトより順位が低い国はエジプト(109位)とイエメン(134位)の2カ国のみである。

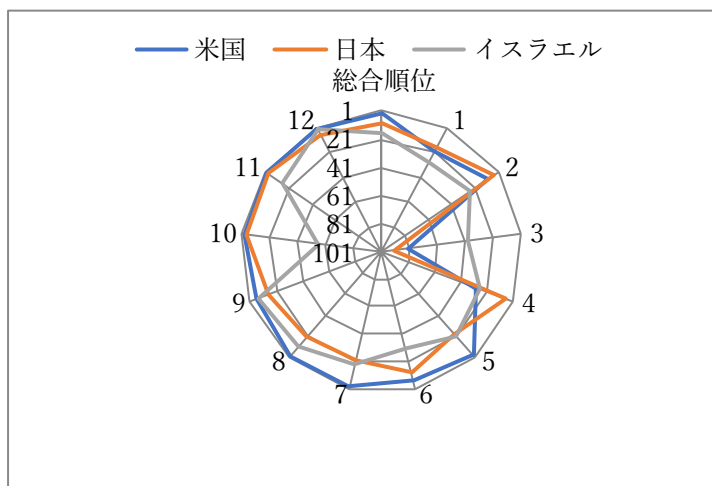
(参考: 日本8位、米国2位、中国28位)

5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)

MENA の主要5カ国(エジプト、トルコ、サウジアラビア、イスラエル及び UAE)と日本、米国、中国の分野別競争力を比較してみる。ここではこれら7か国を総合世界ランクが近い国同士で3つのグループに分け、レーダーチャート図によって各国の競争力の特徴を比較検討する。

レーダーチャート図は最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界151位である。また最上段の総合順位以下時計周りの1から12の数字は各分野を示している。各分野の世界順位を結ぶ輪が各国の状況である。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野で平均した競争力があることを示している。

(1)イスラエルと米国、日本の比較



まず米国(総合世界2位)、日本(同9位)とイスラエル(同16位)を比較すると、米国は「3. マクロ経済環境」が大きく落ち込んでいるが(世界83位)、12項目中の9項目は世界のベスト・テンに入っている。これに対して日本は米国同様「3. マクロ経済環境」が大きく落ち込み世界93位にとどまっているが、「2. インフラ」など5項目が世界のベスト・テンに入り、その他の4項目も世界20位以内に入

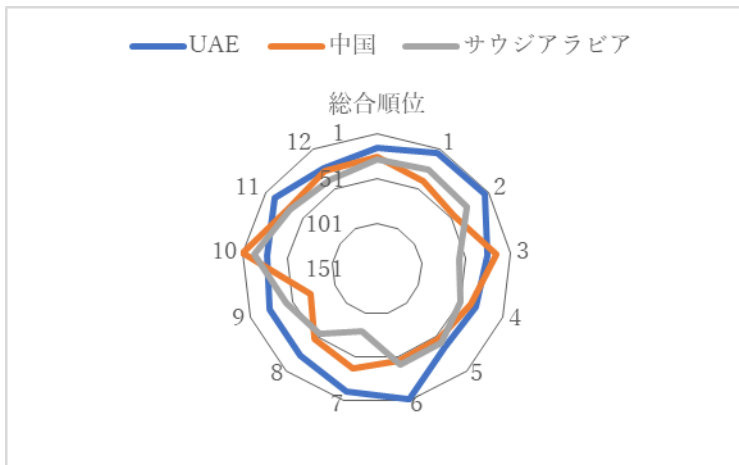
っており平均した競争力を持っていることを示している。

MENA1位、世界16位のイスラエルは「9. 技術的即応性」及び「12. イノベーション」が世界10位以内であり、また「7. 労働市場効率」、「8. 金融市場開放度」、「11. ビジネス洗練度」が世界20位以内であるなど高ランクの項目が多く、「10. 市場規模(世界56位)」を除くすべての項目が世界40位以内であり全体としては均衡のとれた競争力を示している。

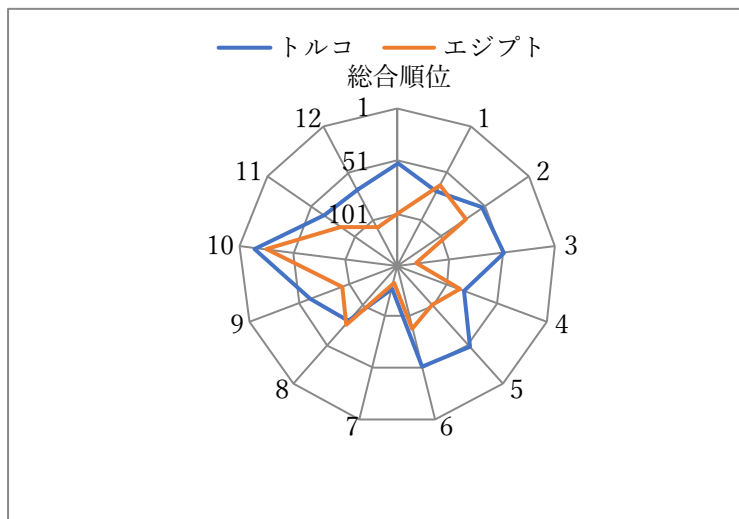
(2)UAE、中国とサウジアラビアの比較

次に UAE、中国およびサウジアラビアを比べると総合順位はそれぞれ17位、27位、30位であり非常に近接している。UAE は「1. 制度機構」、「2. インフラ」及び「6. 商品市場効率」の3項目が世界ベストテンに入っておりその他の項目もすべて世界40位以内であり非常に均整が取れている。中国は「10. 市場規模」が世界1位であるが、その他の項目は30~40位のものが多い。サウジア

ラビアの場合は「10. 市場規模」が世界15位であることを除けばその他の指標はいずれも UAE を大きく下回っている。また中国と比較すると12項目のうち5項目が上回っている。



(3)トルコとエジプトの比較



トルコとエジプトは共に人口7千～8千万人を有する MENA の大国である。両国の総合ランクはトルコ53位、エジプト100位と大きな格差がある。トルコは「7. 労働市場効率」が世界127位と極めて低いが、その他のほとんどの項目は60位前後で世界の上位グループに入っている。これに対してエジプトは12項目中の4項目が世界100位以下、その他の項目も80位前後に低迷しており、「10. 市場規模」だけが世界上位の25位である(同項目のトルコの順位は14位)。

エジプトは人口規模のみが競争力として評価され、その他の項目は極めて低いのに対しトルコは新興工業国として種々の側面で競争力が評価されていると考えられる。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
 Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
 E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界競争力ランキング

国名	2017-2018 年		2016-2017 年		前回との比較	
	世界順位	総合インデックス	世界順位	総合インデックス	世界順位	総合インデックス
イスラエル	16	5.31	24	5.18	8	0.13
UAE	17	5.30	16	5.26	▲ 1	0.04
カタール	25	5.11	18	5.23	▲ 7	▲ 0.12
サウジアラビア	30	4.83	29	4.84	▲ 1	▲ 0.01
バハレーン	44	4.54	48	4.47	4	0.07
クウェイト	52	4.43	38	4.53	▲ 14	▲ 0.10
トルコ	53	4.42	55	4.39	2	0.03
オマーン	62	4.31	66	4.28	4	0.03
ヨルダン	65	4.30	63	4.29	▲ 2	0.01
イラン	69	4.27	76	4.12	7	0.15
モロッコ	71	4.24	70	4.20	▲ 1	0.04
アルジェリア	86	4.07	87	3.98	1	0.09
チュニジア	95	3.93	95	3.92	0	0.01
エジプト	100	3.90	115	3.67	15	0.23
レバノン	105	3.84	101	3.84	▲ 4	0.00
イエメン	137	2.87	138	2.74	1	0.13
イラク	-	-	-	-	-	-
リビア	-	-	-	-	-	-
パレスチナ自治区	-	-	-	-	-	-
シリア	-	-	-	-	-	-
MENA 平均	64	4.35	65	4.31	1	0.05
(全対象国数)	137	-	138	-	-	-
日本	9	5.49	8	5.48	▲ 1	0.01
米国	2	5.85	3	5.70	1	0.15
中国	27	5.00	28	4.95	1	0.05
世界 1 位	スイス	5.86	スイス	5.81	-	0.05
最下位	イエメン	2.87	イエメン	2.74	-	0.13

Source: The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

世界競争カランクの推移

	第13回 (2013-2014 年)	第14回 (2014-2015 年)	第15回 (2015-2016 年)	第16回 (2016-2017 年)	第17回 (2017-2018 年)
イスラエル	27	27	27	24	16
UAE	19	12	17	16	17
カタール	13	16	14	18	25
サウジアラビア	20	24	25	29	30
バハレーン	43	44	39	48	44
クウェイト	36	40	34	38	52
トルコ	44	45	51	55	53
オマーン	33	46	62	66	62
ヨルダン	68	64	64	63	65
イラン	82	83	74	76	69
モロッコ	77	72	72	70	71
アルジェリア	100	79	87	87	86
チュニジア	83	87	92	95	95
エジプト	118	119	116	115	100
レバノン	103	113	101	101	105
イエメン	145	142	-	138	137
リビア	108	126	-	-	-
シリア	-	-	-	-	-
イラク	-	-	-	-	-
パレスチナ自治区	-	-	-	-	-
MENA 平均	66	67	58	65	64
調査対象国数	148	144	140	138	137
日本	9	6	6	8	9
米国	5	3	3	3	2
中国	29	28	28	28	27

Source: The Global Competitiveness Report by World Economic Forum (WEF)

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-report-2017-2018/>

<u>総合 順位</u>	<u>国名</u>	<u>Institutions</u>	<u>Infra structure</u>	<u>Macro economic environment</u>	<u>Health and primary education</u>	<u>Higher Education and training</u>	<u>Goods market efficiency</u>
16	イスラエル	29	25	39	27	21	30
17	UAE	5	5	28	33	36	3
25	カタール	10	13	20	34	37	15
30	サウジアラビア	26	29	59	51	43	42
44	バハレーン	23	33	108	37	39	23
52	クウェイト	57	64	30	83	95	89
53	トルコ	71	53	50	84	48	53
62	オマーン	28	36	66	63	71	47
65	ヨルダン	36	58	115	80	63	51
69	イラン	85	57	44	50	51	100
71	モロッコ	49	54	55	81	101	58
86	アルジェリア	88	93	71	71	92	129
95	チュニジア	80	82	109	58	82	112
100	エジプト	64	71	132	87	100	90
105	レバノン	124	113	133	72	74	61
137	イエメン	134	135	130	118	136	132
	MENA 平均	57	58	74	64	68	65
参考							
9	日本	17	4	93	7	23	13
27	中国	41	46	17	40	47	46
2	米国	20	9	83	29	3	7

(15-T03 続き)

<u>総合 順位</u>	<u>国名</u>	<u>Labor market efficiency</u>	<u>Financial market development</u>	<u>Technological readiness</u>	<u>Market size</u>	<u>Business sophistication</u>	<u>Innovation</u>
16	イスラエル	18	11	7	56	15	3
17	UAE	11	24	24	29	13	25
25	カタール	19	25	34	51	22	21
30	サウジアラビア	80	56	44	15	34	40
44	バハレーン	37	46	31	90	36	45
52	クウェイト	119	62	68	50	70	103
53	トルコ	127	80	62	14	67	69
62	オマーン	122	54	59	62	72	76
65	ヨルダン	90	70	67	76	48	46
69	イラン	130	128	91	19	97	66
71	モロッコ	120	72	82	53	69	94
86	アルジェリア	133	125	98	36	74	87
95	チュニジア	135	110	85	69	98	99
100	エジプト	134	77	94	25	84	109
105	レバノン	109	76	64	75	52	58
137	イエメン	136	136	136	96	134	134
	MENA 平均	95	72	65	51	62	67
参考							
9	日本	22	20	15	4	3	8
27	中国	38	48	73	1	33	28
2	米国	3	2	6	2	2	2

Source: The Global Competitiveness Report by World Economic

<http://reports.weforum.org/global-competitiveness-report-2017-2018/>